

## 2022年度東京都山岳連盟ジュニア強化選手について

ジュニア強化事業は、東京都の国体選手育成などを目的に行われている事業である。ジュニア強化選手は、強化講習や強化合宿が受けられるほか、公式大会参加費用の一部が助成されることがある。また、関東小中学生選抜クライミング選手権大会等の派遣選考において優先される。

2022年度のジュニア強化選手の条件および選考方法は、以下のとおりである。

1. ジュニア強化選手の満たすべき条件は以下のとおりとする。
  - 1 将来、東京都の国体選手を目指す、2004年4月2日～2013年4月1日に生まれた者であること。(高校3年～小学4年)
  - 2 大会等で東京都山岳連盟所属選手として活動すること。
  - 3 東京都山岳連盟加盟団体である東京スポーツクライミングクラブに加入すること。
  - 4 JMSCAおよび東京都山岳連盟の主催、主管する大会や、ジュニア強化講習会などに積極的に参加すること。  
(JMSCAの大会に参加する場合は、JMSCA2022年度選手登録が必要)
  - 5 リード、ボルダリングの双方に意欲的に取り組むこと。
  - 6 行動規範を重んじ、東京都山岳連盟ジュニア強化選手としてふさわしい者であること。

上記の他、強化事業遂行のため、保護者の方には、東京都山岳連盟SC局の事業(大会スタッフ、ジュニア選手強化委員、国体・ジュニア選手強化予算管理など)への参加を必須とする。

2. 強化選手選考は以下の基準を総合的に判断する。カテゴリーが異なる選手間の選考においては、将来のオリンピック、国体選手育成も見据え、男女・年齢層には配慮する。なお、ケガや病気、学校行事等やむをえない事情で、東京選手権[リード／ボルダリング]の一方、もしくは両方に出場できない場合でも、東京都山岳連盟の監督・コーチの推薦が得られれば、例外的にジュニア強化選手に選出されることがある。
  - 1 東京選手権[リード／ボルダリング]の両方に出場し、以下の条件を1つ以上満たす者。2021年4月～2022年3月までに行なわれたユース選手権のユースC以上のカテゴリーにおいて決勝進出(リード、もしくはボルダリング)、もしくはジャパンカップにおいて準決勝進出(リード、もしくはボルダリング)。ただし、上記期間に行われるはずであった大会が延期され、それ以降の時期に行われた場合もそれらを考慮に入れる。
  - 2 東京選手権[リード／ボルダリング]の両方に出場し、リードとボルダリングの合計順位がより少ない者ほど上位とする。順位は、東京都内在住・在学の選手内で算出する。合計順位が等しい場合は、リードの成績が上位の者を優先する。算出方法は国体選考と同等とする。

但し、新型コロナウイルス(COVID-19)感染防止のため東京選手権[リード／ボルダリング]の両方が中止になった場合は、2021年4月～2022年3月までに行なわれた(公式)大会成績を参考に選考を行う。また、悪天候等により東京選手権[リード]のみが中止になった場合は、東京選手権[ボルダリング]の成績と2021年4月～2022年3月までに行なわれた(公式)リード大会成績を参考にして選考を行う。(ジュニア強化選手公募においては、応募者に2021年4月～2022年3月までに行なわれた大会成績を申告してもらう。その際、大会結果の証拠書類を提出してもらうことがある。)

3. 選考対象者については、東京選手権[リード／ボルダリング]終了後、大会申込書類に記載された連絡先に連絡する。